

山形県議会広報紙

県議会ナビ

vol.08

令和5年10月発行

県議会ナビとは、県議会では、若い皆さんに県議会に関心をもってもらうため、平成28年度から年1回、県議会を紹介する広報紙を発行しています。

生徒・学生のひと言が



山形県の未来をつくる

CONTENTS

- ◆山形大学フリーペーパーサークル Y-ai !x県議会議員 “本音”で座談会!
- ◆県議会傍聴体験レポート
- ◆学生から見た統一地方選挙2023
- ◆県議会へようこそ

常任委員会の議論を見学! 県議会傍聴体験レポート

県議会議員のみなさんは、普段、どのような仕事をしているのでしょうか。
7月5日に行われた常任委員会を傍聴しました。

真剣な議論は まるでドラマの世界!?

山形県議会の常任委員会は、6つの委員会が置かれています。今回は総務常任委員会、厚生環境常任委員会、建設常任委員会を傍聴しました。

建設常任委員会では、鶴岡市西目地区において令和4年12月31日未明に発生した土砂災害についての話し合いがなされていました。質疑応答の中で、土砂災害からの復旧工事、また復旧工事の際の課題として鶴岡市と山形県との協力体制などについて様々な質問が議員の方からされており、県庁の職員の方々がこれらの質問に対して回答をしていました。

厚生環境常任委員会で行われていたのは、山形の樹氷復活や鳥獣対策といった議論。特に鳥獣対策は、銃弾の製造国であるアメリカが外国の紛争国を優先して供給しているため猟友会の銃弾が不足していることが非常に興味深いと感じました。様々な情報を収集し、委員会の場で共有しているようです。

今回、傍聴を通して、委員会に参加している全員が山形県をより良くするために真剣に話し合いに取り組んでいることを知りました。その姿はとてまっかこよく、尊敬の念を抱かずにはられません。山形県のために働く人々のかっこよさを感じました。



▲傍聴のときは名前や住所を記載。思いの外、簡単な手続きで、傍聴できました。



▲行政の場における真剣な話し合いを聞くことができ、非常に印象に残る経験になりました。



▲発言する際には「委員長!」と言って、指名されてから起立しマイクを渡されて発言するというもので、刑事ドラマの捜査会議のようなイメージをもちました。

県議会棟 1階にはレストランも!

山形県議会棟1階入口のすぐそばには、レストラン「議会サロン」があります。こちらは、誰でも利用でき、窓から四季折々の景色を眺めながらおしゃべりしながら美味しいランチを楽しむことができます。

― 普段はどのような仕事を? 議員…地区の盆踊りの準備をしたり、草刈りをしたり、防災訓練に参加したり様々です。議員は住民の代表。いろんなイベントに参加するなどしながら、話を聞くことが大切だと思います。

― 議員の仕事のやりがい? 議員…毎日、たくさんの人と接して、知らないことを教えてもらったりしながら、様々な要請をいただきます。それらを提案して実現できたときに、住民のみなさんに喜んでもらえるやりがいを感じます。

― 議員になりたいと思っただけでいい? 議員…40代の頃に一度議員になった後、辞めて介護の仕事をしたのですが、そのときに、会社の運営に非常に苦労しました。なかには、会社だけでは解決できないことも。そこで再び議員になり施策から変えたいと思いました。今後も自分の経験を生かして提案していきたいと思っています。

― 議員に必要な力は? 議員…県民のみなさんのお話を聞けることが大切。自分の意見を一方的に伝えるだけではダメだと思います。実態を聞いて、制度提案をしたりしていかねければなりません。

― 議員…全く同意見で、聞く力が必要ですか。また、人と会うのが苦にならない人が向いていると思います。学生には政治の関わりが実感できないこともあります。

議員…最近の話だと、山形大学のグラウンドが人工芝になりましたが、これは以前のグラウンドを国会議員が視察し、予算要望のアイデアを出し改修につながりました。身近な話に政治が関わっています。就職のことが子育てとか、現状を議員に伝えていただくことがより良い生活につながると思っています。

山形県議会議員

山形大学
フリーペーパーサークル Y-ai!

「本音」で座談会!

「普段は何をしているの?」、
「議員の働きと私たちの生活との関係は?」など
素朴な疑問をぶつけてきました。



― 今後の展望は? 議員…山形県の特徴は、農業、ものづくり、人材の3つだと考えています。特に人材については、山形に進出した県外の企業の方が「山形には素晴らしい人材がたくさんいる」と話していました。山形の人材を大切に、山形を大切に思ってくれる人を増やしていければと思います。

議員…山形県の最大の課題の1つには若い女性の流出があります。様々な課題に対して税金を使うなどしながら、職業選択の幅を広げたり、賃金アップしたりということが必要です。その施策が納税や消費、もしかしたら家族が増えることにもつながり、ゆくゆく元々されていくのではないかと思っています。

座談会に参加して……

議員のお話を聞いて「議員は人と会うことが基本」という姿勢を知ることができました。私達自身も様々な発信を受け止めて自分事として捉えていきたいです。

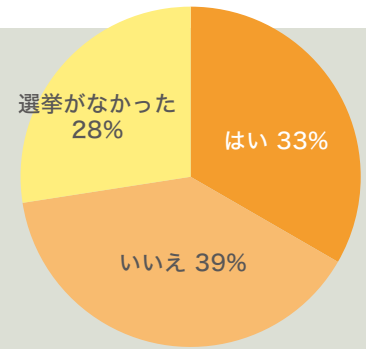
また、「自分の世界にひき込む議論力」が求められるということが印象に残っています。これまで議員のイメージは政治や法律などの堅い話ばかりと思っていましたが、私達学生でも十分に理解出来る興味のあるお話を沢山聞くことができ「議会など政治に関わる仕事も良いかも!」と思いました。

若い女性が山形から出てしまうというお話は、とても悲しい現実です。山形にいる自分達がフリーペーパーを通して発信していく立場なのだということを実感しました。



学生から見た 統一地方選挙2023

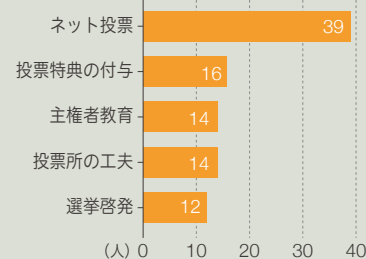
2023年4月に行われた山形県議会議員選挙をはじめとした統一地方選挙を通して、山形県内在住の学生が選挙についてどのように考えているのか、インターネットによる意識調査を行いました。



Q.投票に行きましたか?

【投票に行った理由】
自分がこうなってほしいと思う社会の実現に最も考え方が近い方に当選してほしいと思ったから。/自分自身に選挙に行く習慣をつけたから。/投票権を持っているので行っておきたいと思ったから。/将来地元で就職予定なので、地元の将来を良くするために投票した。/なんとなく。/投票に行くことは国民として大切だと思うから。/国民の一員として行動できる貴重な場だから。(抜粋)

【投票に行かなかった理由】
用事があった。/引越したばかりで投票権が無かったから。/時間が取れなかったから。/住民票を移していないため、投票権がないから。/住民票が地元にあるから。/投票場所まで行くのが面倒。/試験前だから。/山形に住み始めたばかりでわからないことが多かったから。/住民票を移したのが4月だったため入場券を持っていなかったから。/めんどうくさくなってしまった。(抜粋)



Q.投票率を上げるために何が有効だと思いますか?

【その他の意見】
○若者の政治に対する関心度を上げる
○もっと気軽に不在者投票をできるようにする
○罰金制度を設けてはどうか
○投票の義務化
○年齢層別の人口比に合わせて、年代ごとに票の重さを変える (例)70代…一人1票、20代…一人1.9票

【調査方法】各種SNS (インスタグラム、旧ツイッター、ライン等) でアンケートを拡散し「山形県在住で選挙権を持つ年齢の学生」を対象に調査を実施しました。51名からご協力いただきました。ありがとうございました。

県議会へようこそ

県民のみなさまに県議会を身近に感じてもらうため、様々な取組みを進めています。

県議会議員と 学校で意見交換！

県議会では、若い世代にも議会を身近なものに感じてもらうことを目的に意見交換会を実施しています。学校の希望に応じて討論型・ワークショップ型・活動発表など様々な形式で開催しており、若者の政治参加だけでなく、議会・議員に関することや県の施策に関することについても意見が交わされています。生徒会活動、学生ゼミ、探究型学習など参加形態は問いません。希望する学校はぜひ、県議会へ相談してください。



▲新庄東高等学校生徒との意見交換会の様子

県議会ギャラリーで 作品展示！

議会棟 1 階のロビーを「県議会ギャラリー」として開放しています。県内の児童、生徒の皆さんが学校の授業や部活動などで制作した作品を展示することができます。

【展示対象】

工作、絵画、イラスト、ポスター、彫刻、写真、
研究発表用パネル 等

【展示期間】1 カ月以内

【展示費用】無料



▲東桜学館中学校・高等学校の「探究活動」の紹介展示

県議会議員との意見交換会や
県議会ギャラリーについては……

お問い合わせ／県議世事務局議事調査課政策調査室
〒990-8570 山形市松波二丁目8番1号
TEL 023-630-2845 FAX 023-630-2853

編集後記



広報・広聴委員会の委員

県議会ナビの発行に当たっては、わかりやすさ・読みやすさはもちろんのこと、若い方の感性を生かしたデザイン・内容にしたいと考え、山形大学の学生さんに協力していただきました。より多くの若い皆さんに手に取ってもらい、県議会や政治に興味をもってもらえると嬉しいです。

(編集) 山形県議会広報・広聴委員会
(協力) 山形大学フリーペーパーサークル「Y-ai! (ヤイ)」
人文社会科学部 2年 鈴木昭汰さん、田之岡和輝さん
地域教育文化学部 2年 濱野空さん、平はなさん、小林真子さん、高砂知里さん
地域教育文化学部 4年 佐藤悠里さん、新田ゆいさん



編集・発行／山形県議会 〒990-8570 山形県山形市松波二丁目8番1号 ☎023-630-2845